

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3 年 12 月 28 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100298		
法人名	尾道市		
事業所名	公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」		
所在地	広島県尾道市御調町高尾1348番地6 (電話) 0848-76-2569		
自己評価作成日	令和3年11月26日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3474100298-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」は認知症高齢者が、家庭的な環境のもと住み慣れた地域で生活しています。コロナ禍ではありますが、図書館展示、原爆慰霊碑への千羽鶴献納等の作品を通じて、地域と継続した関係性を続けています。住み慣れた環境での生活を継続できるよう多職種と連携し多方面に支援する事により、心身機能・生活機能の維持向上を目指しています。職員一人ひとりのケアの質の向上に繋げる為、グループホーム「かえで」での独自の研修に加え、総合施設や公立みつぎ総合病院と連携し様々な研修を受講し、認知症ケアのスキルアップを行っています。また、「かえで」の理念に基づいたケアを実践し、毎月「かえで」の理念に沿った個人の目標を実施し見直す事で、利用者を中心としたケアの実践を重視した運営を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

法人母体が公立みつぎ総合病院で地域の基幹病院となり内科だけでなく専門科もあり、包括的な医療提供体制が可能となっている。また、当事業所は総合施設として特養やデイサービスなど多岐に渡る福祉サービスが提供されている。各種委員会活動が豊富にあり各事業所が協力しケアの向上に努めている。その中でICT委員会があり、事業所ごとに書面や書式の違いを統一し異動による職員負担を軽減するための取り組みを理事長を中心に行っている。日々のケアの中で利用者の「思いに寄り添う」ことを重要視しており事業所独自の書面を用い、その方の背景に何があるのかを全職員で考え、支援できるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日、始業前に病院の基本理念・「かえで」の理念を唱和し日々実践できるよう取り組んでいる。また、年度初めには、理念の中の言葉を深く掘り下げユニット単位での目標を立て、目標達成に向け行動指針を各ユニットに掲示し毎月評価している。	毎朝理念の唱和をすることでその日、始業前に目指す事柄を確認し日々の業務にあたっている。職員個人でも個人目標を立て、毎月モニタリング表を使い、見直しを行うことで日々のケア向上に努めている。また、事業所理念と個人目標をフロアに掲示し、業務中にも振り返れるようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者の地域行事への参加は控えている。原爆慰霊碑への千羽鶴献納、図書館での作品展示などを通じて地域と継続した関係を築けるようにしている。	町内会には加入していないが母体法人が地域の基幹病院ということもあり、地域の方との交流も密にある。利用者は入所前の地域より声を掛けていただき行事へ出掛けたこともある。図書館での展示会も恒例行事となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施する機会がなかった。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	概ね2カ月に1回の運営推進会議を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為書面会議とし資料を配布している。	現在書面での会議が継続しておりその中でも事業所での生活が分かるよう行事報告などが盛り込まれている。以前は地域代表や行政機関、担当地域の派出所警察官も出席があり見守りネットワーク事業への助力依頼や作品展示を他の公的施設でも行ってほしいとの依頼があり実現した事例もある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加を依頼している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催は見送っているが、会議資料を配布し「かえで」の運営や取組みを伝えている。	行政担当者とのやり取りは総合施設ということもあり敷地内の他事業所とも協議した上で施設事務が一元的に対応し、深い関係構築につなげている。事業所として「ケアの質向上会議」に参加し関連事業所との意見交換を通して質の向上に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症高齢者の行動を見守りながら寄り添う支援を実践している。	「思いに寄り添う」ということを念頭に利用者の発言や行動の背景には何があるのかを考え、身体だけでなく思いを拘束しないように日々のケアを行っている。毎月勉強会を実施し言葉かけや薬剤による拘束についても知識を深めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待の防止についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症の研修会に参加する事で正しい認知症ケアを実践できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要のある人には支援している。権利擁護についても、総合施設全体での研修を実施している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時には説明を行い理解を得て契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	契約時に苦情に関する施設相談窓口や外部機関への相談等の説明を行っている。また満足度調査を実施し、職員間で改善するための検討を行い、その結果を家族に配布している。現在新型コロナウイルス感染拡大防止の為面会の制限があるため、家族には常日頃より細目に連絡をとり本人の状態や要望を聞いている。	年1回満足度調査としてアンケートを家族に実施し日々のケアに活かしている。集計結果も家族に配布し意見とともに解決策についても記載することで意見の反映に努めている。家族の要望でビデオレターを作成した実績もある。	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>各自の意見を自由に記入できるノートを活用している。ミーティングを月に1回実施し、職員が意見を述べやすい環境を作っている。また、総合施設内の経営・業務改善会議にも参加している。</p>	<p>各ユニットに意見ノートを用意し職員が自由に記載でき利用者の情報共有はもとより職員ごとの思いの把握にも寄与している。また、職員発案でICT委員会を立ち上げ、施設ごとに書面や書式が違うことへの負担を軽減させるための取り組みを法人母体の院長を中心に取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年に2回幹部と個別に面談をおこない意見交換の機会を設けている。努力・実績などを評価しやりがいが実感できる体制をとっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階別研修、病院の全体研修、総合施設全体研修、「かえで」研修など、毎月の研修計画を立て参加している。認知症介護実践者研修・リーダー研修への参加も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>認知症対応型サービス事業開設者研修を受け入れている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は他事業所との交流を実施していない。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前より情報収集と事前面談を行い、本人の困りごとなどを聞いている。環境が変わる事への不安等が軽減するように話を聞き安心できる様に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に家族と面談を行っている。「かえで」内の見学は新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は行っていないが、不安や相談があれば適宜、電話で連絡を取り合っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の必要としている支援の在り方について話し合い、他のサービス資源が必要な際には照会を行うなどニーズに合った対応ができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者に寄り添い、喜怒哀楽を分かち合えるように関わっている。生活の中で利用者のできることに目を向け、家事などを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常の出来事を家族に伝え、家族からは昔の生活習慣や様子を聞き、お互いに話し合いながら対応を検討している。電話での連絡時には、本人も交えて話すこともある。家族の関わりに感謝し、家族の思いや気づきをケアに活かせるように検討している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期的に窓越しの面会を実施している。馴染みの人と電話でのやり取りを通じて関係が継続できるように支援している。</p>	<p>現在コロナ禍の中でも窓越しでの面会を再開しており、今後も感染状況を見ての緩和を検討している。当事業所は携帯電話の持ち込みが可能で自由に家族だけでなく友人とも連絡を取り合っている。以前は「ふるさと訪問」と題して外出支援を行っており、墓参りや自宅で家族との大切な時間を過ごしていた。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性を把握し、孤立しないよう、活動への参加や日常のくつろげる場所などの配慮をしている。お互いの関わりを見守っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新型コロナ感染拡大防止の為現在は行えていないが、以前は総合施設内の施設に住み替えされた利用者へ面会に行ったり、グループホームへの里帰りの支援をしていた。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時には必ず本人・家族に意向を尋ねケアプランに反映させている。意向を伝えるににくい利用者に対し日頃から言動の背景にある心理を理解する様に努めている。利用者一人ひとりの「私の姿シート」を職員全員で記入を行い、申し送りやミーティングなどで情報を共有している。	事業所独自の「私の姿シート」があり、各担当者が利用者を絵で描き、大切なものを付け加えることでひと目でその方を思い描けるよう工夫している。思いの表出が困難になっても「思いに寄り添う」ことを念頭に置き、表情の変化や目線などをもとに本人本意にケアを実施している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に生活歴や昔の暮らし、好みなどの情報を収集しまとめている。入居後も本人や家族から情報の収集を継続している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間のケア記録を実施し利用者の過ごし方を職員間で把握し情報を共有している。気づきがあれば申し送りやミーティングなどを活用し情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時には、本人・家族の要望を聞き、リハビリスタッフ・歯科衛生士と連携し情報を集めアセスメントを行っている。併せて各ユニットの介護職員全員で「私の姿シート」を記入し、ケアプランに反映させている。</p>	<p>「私の姿シート」とひとつの行動の背景を理解する為に用いる「ひもときシート」を中心に各担当だけでなく全職員・他職種が協働しその方に合った介護計画となるよう心がけている。家族へ絵手紙を毎月送付することや日課としての仏壇へのお参りなど、個々の思いを具現化した計画としている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>24時間のケア記録用紙を使用し、ケアのヒントや気づきなど本人の言葉をそのまま記録に残している。必要時には「ひもときシート」をユニット介護職員で記入し、本人の想いを整理してアセスメントに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人・家族の要望に応じ医師の指示にてリハビリセンターを利用している。また、音楽療法の実施や、歯科医師・歯科衛生士による口腔のチェック、リハビリスタッフと共同し生活機能向上のためのアセスメントを実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は地域に出かけてはいないが、地域の図書館に展示する作品を作ったり、原爆慰霊碑に献納する千羽鶴を折るなどの活動を「かえで」内で行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に当事業所の母体病院をかかりつけ医とする同意を得ている。内科・精神科・歯科・皮膚科の医師による定期的な訪問診察、必要時の通院体制を整えている。受診の経緯や結果を家族に報告することで、本人・家族の安心に繋がっている。また、ケア記録に残す事で職員間で情報を共有している。</p>	<p>法人母体が総合病院ということもあり包括的な医療提供が可能で主治医変更をお願いしている。また各科の定期的な往診、歯科衛生士の口腔ケアなど医療提供体制も充実している。受診時は職員対応としているがご家族の付き添いも可能で病気への不安解消にもつながっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	総合施設内の事業所や診療所の看護師と24時間連絡が取れる体制を整えている。また、訪問看護ステーションと医療連携体制について契約を結んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院職員に対し情報交換や相談が行える体制が整っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	日頃から利用者の状態を家族に伝えており、今後の考えられる状態も説明している。重度化する場合は、家族の意向、医師の判断や事業所のできることを説明しながら方針を決めている。	総合施設ということもあり、現在看取りは行っていない。利用開始時に利用者家族双方に説明をし、理解を得ている。状態に合わせ都度医師も交えて今後の方針・希望を検討している。急変時にも24時間のオンコール体制を構築しており、柔軟に医療への橋渡しが可能となっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応をマニュアル化し、研修を実施している。また、総合施設全体研修で救命処置の研修を毎年行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合施設全体での避難訓練、「かえで」研修会を実施し、自然災害に備え、職員が災害時にどう行動するか話し合い、備蓄物や避難経路の確認を行っている。	年2回の総合施設全体での訓練とは別に事業所内でも避難訓練を実施している。地域避難場所にも指定されており、応援協定を結ぶことで柔軟な避難が可能となっている。敷地内に備蓄倉庫を完備しており、日頃から乾パンをおやつに提供し利用者も防災意識を高める工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
moti					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇や研修会を実施し言葉遣いや対応に配慮している。毎月接遇目標をたてモニタリングをしている。申し送りなど声の音量や場所に配慮している。	毎月の接遇目標はユニットごとに立て、ユニットミーティングでその月の反省を行っている。日頃から情報共有に隠語を用いることで利用者の尊厳を傷つけないよう努めている。また、お風呂対応はマンツーマンを基本とし、希望に応じて同性での介助など柔軟な支援体制を構築している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者に寄り添う事で、日常の言動を把握し意思表示や自己決定がしやすいように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりのペースに合わせ、意向に合わせるように支援している。また、職員の行動は「かえで」理念に沿ったものであるように日頃から声をかけ合っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みや大切にしてきた習慣に応じた身だしなみを支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	「かえで」で収穫した野菜を使い利用者と職員と一緒に献立を決め準備をしている。季節の料理や誕生日には好きなものを作ってお祝いしている。利用者一人ひとりのできることを支援し、準備から片づけまでを一緒に行っている。	その日の献立はテレビ番組や冷蔵庫の中の食材を見ながら利用者と相談し決めている。食材には家庭菜園でとれたものを活用し、らっきょ漬けを作るなど個々の能力に合わせた役割がある。同敷地内のケアハウスとは食材のやり取りがあり、利用者間の交流の機会にもなっている。	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食事は把握できており本人の状態に合わせて食べ物や飲み物を提供している。嚥下困難な人にはS Tの評価を基に食形態の変更や増粘剤を使用している。状態によっては個別に好みのものを提供し、体力の維持及び、摂取量の低下を防いでいる。月1回、管理栄養士から助言や指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し、個人の能力に応じ支援している。定期的に歯科医師・歯科衛生士の訪問診療や口腔ケアをおこない、口腔に関する相談がしやすい体制が整っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の支援が必要な利用者は、サインや間隔を見ながら声をかけている。個々の状況に合わせてオムツの種類や使い方を検討し、できるだけ布パンツで過ごせる様に支援している。また、自分でパット交換ができる利用者には、手に取りやすい場所にパットを準備し自立を促している。</p>	<p>24時間記載可能な排泄表はもとより、日々の行動や表情の変化を把握し、共有することでトイレでの排泄に繋がっている。紙パンツから布パンツへの移行実績もある。また、3か所あるトイレには和式トイレも設置している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日常的に水分摂取に努め、食物繊維や乳製品の摂取などの工夫をしている。コロナ禍であり、範囲は限界があるが、施設周囲の散歩を行うなど、運動する機会を設けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのタイミングを図りながら入浴できるように支援している。利用者のペースに合わせた時間や介助法で支援している。</p>	<p>1日おきの入浴を基本とし毎日の入浴も可能で、生活パターン、希望に合わせて柔軟な時間の対応をしている。足浴も実施しており、安眠につながる支援も行っている。季節に合わせて湯を用意するなど、入浴を楽しめる工夫をしている。マイシャンプーなどこだわりへの支援も可能である。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人が好まれる場所で休息したり、 個人の状態に合わせた休息時間と とれるよう支援している。今まで の習慣を継続できるよう就寝時間 も一人ひとりの時間に合わせた声 掛けを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。</p>	<p>利用者に処方してある薬の記録は 一覧できるようにファイリングし ている。処方に変更があった時は 、心身の状態の観察と記録を行 い介護職員、医師、看護師との 連携に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。</p>	<p>役割ができて利用するには、継 続できるように支援し、意思の表 現が困難な利用者には日頃の言 動から好きな事に参加出来るよ うに支援している。また、入居 前に利用していたサービス(リ ハビリセンター)を引き続き利用 する事で人間関係や楽しみが継 続出来るよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染 拡大防止の為外出の支援は行 えていない。気分転換に施設周 圍の散歩を行っている。</p>	<p>総合施設内には池や家庭菜園、 ベンチなど戸外で過ごせる設備 を併設しており、希望に合わせ た散歩コースの選定が可能とな っている。また、夜勤帯にもユ ニット間で協力し星を見に散歩 を行うなど思いに寄り添う支援 を行っている。コロナ禍以前は 温泉施設や家族との外出、外泊 の支援も行ってた。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>お金の管理が困難な利用者 に対して職員が関わっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者が家族に電話をしたいとの希望があった時、手紙や贈り物があった際にはお礼の電話を本人からかけられるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>明るすぎず、暗すぎず照明が刺激にならないように配慮している。また、大きな音や光の刺激も極力少なくなるように調整している。季節を感じられるように、花を生けその時期に応じた飾り付けを工夫している。</p>	<p>共有スペースには利用者の作品を展示し、日々の趣味活動を披露する場となっている。椅子やテーブルの高さを複数用意することで身体に合わせ柔軟に対応し正しい座位での生活に繋げている。また、清掃についても利用者と協力し拭き掃除担当、掃き掃除担当と個々に役割を持ち行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングや廊下など各々が安心して過ごせる様に家具やソファの配置を工夫し、くつろげる場所がある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前の面談時に、本人の好みのものや使い慣れたものを持ってきてもらうように説明している。入居時にそれらのものは、家族や本人の手により配置している。</p>	<p>居室はフローリングと畳敷きの部屋があり、希望により布団での対応も可能である。エアコン、カーテンは備え付けである。利用開始時には自宅を訪問し見学することで居室の生活導線に合わせられるよう工夫している。居室入り口に木製の表札を設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>目当ての場所が分かるように表札を設置している。中庭にベンチを置き花壇や菜園を作っている。洗濯の物干し台は利用者に応じた高さのものを利用している。</p>		

V アウトカム項目(1棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎日、始業前に病院の基本理念・「かえで」の理念を唱和し日々実践できるよう取り組んでいる。また、年度初めには、理念の中の言葉を深く掘り下げユニット単位での目標を立て、目標達成に向け行動指針を各ユニットに掲示し毎月評価している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、利用者の地域行事への参加は控えている。原爆慰霊碑への千羽鶴献納、図書館での作品展示などを通じて地域と継続した関係を築けるようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、実施する機会がなかった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	概ね2カ月に1回の運営推進会議を実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為書面会議とし資料を配布している。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議への参加を依頼している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議の開催は見送っているが、会議資料を配布し「かえで」の運営や取組みを伝えている。		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症高齢者の行動を見守りながら寄り添う支援を実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待の防止についての研修を実施し知識の向上に努めている。また、認知症の研修会に参加する事で正しい認知症ケアを実践できるようにしている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>必要のある人には支援している。権利擁護についても、総合施設全体での研修を実施している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には説明を行い理解を得て契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>契約時に苦情に関する施設相談窓口や外部機関への相談等の説明を行っている。また満足度調査を実施し、職員間で改善するための検討を行い、その結果を家族に配布している。現在新型コロナウイルス感染拡大防止の為面会の制限があるため、家族には常日頃より細目に連絡をとり本人の状態や要望を聞いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各自の意見を自由に記入できるノートを活用している。ミーティングを月に1回実施し、職員が意見を述べやすい環境を作っている。また、総合施設内の経営・業務改善会議にも参加している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年に2回幹部と個別に面談をおこない意見交換の機会を設けている。努力・実績などを評価しやりがいが実感できる体制をとっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	段階別研修、病院の全体研修、総合施設全体研修、「かえで」研修など、毎月の研修計画を立て参加している。認知症介護実践者研修・リーダー研修への参加も支援している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	認知症対応型サービス事業開設者研修を受け入れている。新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は他事業所との交流を実施していない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前より情報収集と事前面談を行い、本人の困りごとなどを聞いている。環境が変わる事への不安等が軽減するように話を聞き安心できる様に努めている。		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に家族と面談を行っている。「かえで」内の見学は新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は行っていないが、不安や相談があれば適宜、電話で連絡を取り合っている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人、家族の必要としている支援の在り方について話し合い、他のサービス資源が必要な際には照会を行うなどニーズに合った対応ができるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者に寄り添い、喜怒哀楽を分かち合えるように関わっている。生活の中で利用者のできることに目を向け、家事などを一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>日常の出来事を家族に伝え、家族からは昔の生活習慣や様子を聞き、お互いに話し合いながら対応を検討している。電話での連絡時には、本人も交えて話すこともある。家族の関わりに感謝し、家族の思いや気づきをケアに活かせるように検討している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため定期的に窓越しの面会を実施している。馴染みの人とビデオ通話でのやり取りを通じて関係が継続できるように支援している。また、馴染みの人に本人への便りを依頼する等をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者同士の関係性を把握し、孤立しないよう、活動への参加や日常のくつろげる場所などの配慮をしている。お互いの関わりを見守っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は行っていない。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン作成時には必ず本人・家族に意向を尋ねケアプランに反映させている。意向を伝えるに利用者に対し日頃から言動の背景にある心理を理解する様に努めている。利用者一人ひとりの「私の姿シート」を職員全員で記入を行い、申し送りやミーティングなどで情報を共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時に生活歴や昔の暮らし、好みなどの情報を収集しまとめている。入居後も本人や家族から情報の収集を継続している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	24時間のケア記録を実施し利用者の過ごし方を職員間で把握し情報を共有している。気づきがあれば申し送りやミーティングなどを活用し情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ケアプラン作成時には、本人・家族の要望を聞き、リハビリスタッフ・歯科衛生士と連携し情報を集めアセスメントを行っている。併せて各ユニットの介護職員全員で「私の姿シート」を記入し、ケアプランに反映させている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>24時間のケア記録用紙を使用し、ケアのヒントや気づきなど本人の言葉をそのまま記録に残している。必要時には「ひもときシート」をユニット介護職員で記入し、本人の想いを整理してアセスメントに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人・家族の要望に応じ医師の指示にてリハビリセンターを利用している。趣味の継続のため、生け花を行っている。また、音楽療法の実施や、歯科医師・歯科衛生士による口腔のチェック、リハビリスタッフと共同し生活機能向上のためのアセスメントを実施している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため現在は地域に出かけてはいないが、地域の図書館に展示する作品を作ったり、原爆慰霊碑に献納する千羽鶴を折るなどの活動を「かえで」内で行っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時に当事業所の母体病院をかかりつけ医とする同意を得ている。内科・精神科・歯科・皮膚科の医師による定期的な訪問診察、必要時の通院体制を整えている。受診の経緯や結果を家族に報告することで、本人・家族の安心に繋がっている。また、ケア記録に残す事で職員間で情報を共有している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	総合施設内の事業所や診療所の看護師と24時間連絡が取れる体制を整えている。また、訪問看護ステーションと医療連携体制について契約を結んでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院職員に対し情報交換や相談が行える体制が整っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	日頃から利用者の状態を家族に伝えており、今後の考えられる状態も説明している。重度化する場合は、家族の意向、医師の判断や事業所のできることを説明しながら方針を決めている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時や事故発生時の対応をマニュアル化し、研修を実施している。また、総合施設全体研修で救命処置の研修を毎年行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	総合施設全体での避難訓練、「かえで」研修会を実施し、自然災害に備え、職員が災害時にどう行動するか話し合い、備蓄物や避難経路の確認を行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
moti					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	接遇や研修会を実施し言葉遣いや対応に配慮している。毎月接遇目標をたてモニタリングをしている。申し送りなど声の音量や場所に配慮している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者に寄り添う事で、日常の言動を把握し意思表示や自己決定がしやすいように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者一人ひとりのペースに合わせ、意向に合わせるように支援している。また、職員の行動は「かえで」理念に沿ったものであるように日頃から声をかけ合っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の好みや大切にしてきた習慣に応じた身だしなみを支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	「かえで」で収穫した野菜を使い利用者と職員と一緒に献立を決め準備をしている。季節の料理や誕生日には好きなものを作ってお祝いしている。利用者一人ひとりのできることを支援し、準備から片づけまでを一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの食事量は把握できており本人の状態に合わせて食べ物や飲み物を提供している。嚥下困難な人にはS Tの評価を基に食形態の変更や増粘剤を使用している。状態によっては個別に好みのものを提供し、体力の維持及び摂取量の低下を防いでいる。月1回、管理栄養士から助言や指導を受けている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアを実施し、個人の能力に応じ支援している。定期的に歯科医師・歯科衛生士の訪問診療や口腔ケアをおこない、口腔に関する相談がしやすい体制が整っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄の支援が必要な利用者は、それぞれのサインや間隔をみながら声をかけている。個々の状況に合わせてオムツの種類や使い方を検討しできるだけ布のパンツで過ごせるように支援している。また、トイレの場所がよく分かるようにドアに表示をしたり、迷っている様子が見られれば速やかに案内している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>日常的に水分摂取に努め、食物繊維や乳製品の摂取などの工夫をしている。コロナ禍であり、範囲は限界があるが、施設周囲の散歩を行うなど、運動する機会を設けている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりのタイミングを図りながら入浴できるように支援している。利用者のペースに合わせた時間や介助法で支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>本人が好まれる場所で休息したり、 個人の状態に合わせた休息時間 をとれるよう支援している。今ま での習慣を継続できるよう就寝時 間も一人ひとりの時間に合わせた 声掛けを行っている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>利用者に処方してある薬の記録 は一覧できるようにファイリング している。処方に変更があった 時は、心身の状態の観察と記録 を行い介護職員、医師、看護師 との連携に努めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>役割ができている利用者には、 継続できるように支援し、意思 の表現が困難な利用者には日頃 の言動から好きな事に参加出来 るように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける るように支援している。</p>	<p>現在、新型コロナウイルス感染 拡大防止の為外出の支援は行 えていない。気分転換に施設周 囲の散歩を行っている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>お金の管理が困難な利用者 に対して職員が関わっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2棟)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者が家族に電話をしたいとの希望があった時、手紙や贈り物があった際にはお礼の電話を本人からかけられるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>明るすぎず、暗すぎず照明が刺激にならないように配慮している。また、大きな音や光の刺激も極力少なくなるように調整している。季節を感じられるように、花を生けその時期に応じた飾り付けを工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングや廊下など各々が安心して過ごせる様に家具やソファの配置を工夫し、くつろげる場所がある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前の面談時に、本人の好みのものや使い慣れたものを持ってきてもらうように説明している。入居時にそれらのものは、家族や本人の手により配置している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>目当ての場所が分かるように表札を設置している。中庭にベンチを置き花壇や菜園を作っている。洗濯の物干し台は利用者に応じた高さのものを利用している。</p>		

V アウトカム項目(2棟) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 公立みつぎ総合病院グループホーム「かえで」

作成日 令和4年1月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	コロナ禍により外出の機会が減っている。	外出の機会を増やす。	感染対策を行い、ドライブや屋外施設を利用するなど外出機会を増やす。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。